



4月1日号

2020年(令和2年)

第493号

毎月1日発行

(一部税込110円)

http://kamakura-asahi.com

朝日新聞の姉妹紙

鎌倉朝日

◎発行所 鎌倉朝日新聞社 ☎0467-24-8553 FAX23-1205
鎌倉市大町2丁目8番13号 2-202
〒248-0007 録倉市大町2丁目8番13号 2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉学舎
八幡宮前・小町通り・十二所神社前方
本店 電話 0467-22-4431

映画文化を紹介してはや10年

鎌倉市川喜多映画記念館

時と場所を超えて出演者が動き、会話し、それを背景と音楽が支える。映像娯楽として125年前に誕生した映画。今や私たちの日常生活の隣にあって当然の娯楽・芸術性Ⅱ映画を紹介している「鎌倉市川喜多映画記念

ミュージアム」のレミエール兄弟が、パリでスクリーンに動く映像を映したのが始まりです。今年で生誕

ひよこ 清泉水学院音楽部の 躍進を支える顧問 佐藤美紀子さん



OG合唱団「La Pura Fuente (清き泉)の意」と東京の男声合唱団とのジョイントコンサートを企画している。新型コロナウイルスの流行で開催時期は見通しにく

ラトビア国際合唱コンペティションで総合ラングリに輝くなど昨年度 国内外の名のあるコンクールで金賞を総なめした清泉学院音楽部。20年以上にわたり顧問として同部を指導してきた。これからは「清泉にどまらず、たくさんの人と多様でグローバルな音楽を楽しんでいきたい」と新たな目標を掲げる。その手始めとして、自らが指導する音楽部

型コロナウイルスの流行で開催時期は見通しにくいが、「このような状況だからこそ形を委せてもらって実現を模索している。小学校時代から合唱に親しんできた。中学から清泉学院に進み、音楽部に所属。大学(横浜国立)時代からは学外の合唱団に所属し、有名な海外オケストと共演もした。大学で生物生態学を学び、卒業後、母校に生物

の先生として戻った。39歳の時、音楽部の顧問を本格的に引き受けた。中学が1年目に関東大会、5年目には全国大会出場と「とんとん拍子」に躍進した。「凛として透明で、あたたかい声の「清泉サウンド」を作り上げ、音楽部の高い評価を確立した。土曜の練習をのぞいた。部員が浴衣姿で「あんだがたごき」など、わらわら曲を組み合わせたオリジナルの民謡音楽を歌い踊る。「窓の外空を見つめてね」「夢顔して」。次々と指示が飛び、「ほら鳥が飛んでいるでしょ」などどよみ懐景を描いてあげる。そうすることで生徒たちの表現力が豊かになる。学生時代に高山植物の生態研究

のため世界の山々を訪れ、いろいろな景色を見てきた。「おかげで、光景が次々と思い浮かぶの。合唱指導に役立っているんです」 教頭、教務部長などを歴任、超多忙な日々を過ごしてきた。でも「生徒たちの輝く顔が原動力になっていた」と振り返る。昨年4月から非常勤になり、ゆるりの合唱や授業の準備ができるようになった。保護者のお母さんコースも始めた。「こまやかな指導で先生についていけば自信が持てる」など評判はすこぶる良い。夫と2人住まい。由比谷浜の美家の一角に自宅がある。隣には母、姉夫婦、陸を泳ぐために夫婦とにきりかた。(文・写真 三浦雅司)